旭川市報道依頼

各報道機	機関 様				発表日	令和2年	10月15E	3			
					発信課	農政課					
					担当者	櫻庭 タ	か 耶葉				
					連絡先	電話	25-7	417			
						FAX	26-8	624			
						E-mail	nousei@	city.asahi	ikawa.hok	kaido.jp	
分	類		イ	ベン	ト・行い	事					
日	程	1	0	月	25	日	~	10	月	25	日
発表 (行事		令和	12年	度力	旭川市	民農業:	大学全 [·]	体講座	(農村文	て化講座	()
										乍り」,「稲:	
			_			じを学ぶこ 3願い致し		」とした農物	村文化講	座が行わ	れますの
		(, ,	4X14) +	以ルンプ	مري <i>د</i> رور	が見い。大人	6 7 0				
		1 開催日時など 令和2年10月25(日) 9:40~13:30 旭川市西神楽農業構造改造センター									
						丁目249		5-3571			
概	要	2 💈	参加者	旭川	市民農業	大学に本	年度在第	箸の学生	15名		
(趣旨•	容等を	3	当日の	スケジ	ュール(=	予定)					
場所・内記入する						ナ物講座					
BL/() '6						家が教える わら体験詞		Ē			
		4 ‡	旨導農	家							
			責け物語			子氏(東加 家4名(海			:111 = +-	森 丘)	
						勝,良子				膝氏)	
		<u></u>	日の道	基絡先	: 090	-9522	-2343	(事務局	櫻庭)		
添付	資料	1	Ī		旭川市	民農業大	学事業概	要			
7/3/1 3	2541				の内容を	記入するこ	と。なお,	別途冊子	等の配付を	希望する場	景合は, そ
+p \24 / -	-111.	の日	記入する	<u>ه ۲ ت ل</u>							
報道(耶 当たって											
ヨたりし											
備	考										

令和2年度旭川市民農業大学事業概要

- 1 主催 旭川市農政部農政課
- 2 事業概要 市民の農業・農村・食糧への関心と理解を深めることを目的に、 市内有志の農業者が農作業、農産加工実習、講義等を実施する。
- 3 事業実施期間 令和2年4月1日から翌年3月31日まで

4 講座内容

(1) 定例講座

指導農家の農園での農作業、農産物調理、工芸等を体験する。 4月から10月までの月1回程度実施。

- (2)全体講座
 - ①バス研修→コロナウィルスの感染拡大により、座学講座へ変更実施しました。市内農業者の農園を見学し、旭川市の農業の実態について学ぶ。年1回実施。
 - ②農村文化講座 伝統的な農産加工や工芸を学ぶ。年1回実施。
 - ③収穫祭
 - 指導農家の農産物を使って調理、加工を体験する。年1回実施。 ④農産加工実習

豆腐、味噌、りんごジュース、チーズ等の加工を学ぶ。年1回実施。

(3) 令和2年度事業計画

講座・行事	日時	場所	内容
入学式	3/31 (日)	花菜里ランド	1年間の説明と、農家との顔合わせ。
定例講座	4~10月の	指導農家	指導農家と春の畑準備から秋の収穫
	月1回	の農園	まで農作業を体験する。
座学講座	7/12 (日)	花菜里ランド	市内農家、施設等の見学ツアー。
農村文化講座	10/25 (日)	西神楽農業構造	餅つき、藁細工等、農村文化に親し
		改造センター	む。
収穫祭	11/29 (日)	花菜里ランド	農家のもとで手掛けた農産物を料
			理。
農産加工実習	1/10 (日)	花菜里ランド	自宅でできる農産加工を学ぶ。
体験発表会	2/14 (日)	花菜里ランド	1年間を振り返り、活動内容を発表。
修了式	3/28 (日)	花菜里ランド	修了式及び交流会。

5 参加者数 18人

6 指導農家

氏:	名		指導内容	住所	受入人数
野良処てくてく	浅野	晃彦	水稲・野菜	神居西丘7番地の4	6人
古屋農園	古屋	勝	水稲・野菜	東旭川町豊田 396 番地の 2	3人
荒川牧場	荒川	忠基	酪農	江丹別町拓北 582 番地の 4	4人
加藤農園	加藤	了子	水稲・野菜苗・ 花苗・切花	東旭川町豊田 647 番地の 2	5人